

特定非営利活動法人 九州バイオマスフォーラム
第 1 回通常総会議事録

- 1 日 時 平成 16 年 6 月 27 日 15:00～16:30
- 2 場 所 パレア 第 8 会議室
- 3 出席者数 24 名 (内、正会員数 15 名、表決委任者 4 名)
- 4 審議事項
 - 1 号議案 平成 15 年度事業報告(案)の承認
 - 2 号議案 平成 15 年度収支計算報告(案)の承認
 - 3 号議案 平成 16 年度事業計画(案)の承認
 - 4 号議案 平成 16 年度収支予算(案)の承認
 - 5 号議案 役員を選出
- 5 議事の経過の概要及び議決の結果

(1)開会

定刻に至り、司会者の野上寛史氏が開会を宣し、本日の通常総会は本人出席 15 名、委任状出席 4 名の計 19 名であり、正会員 28 名中 19 名の出席があったので、有効に成立した旨を告げた後、開会を宣した。

(2)議長および議事録署名人選出

司会者が議長の選出について諮ったところ、事務局に一任するという事で司会者が山内康二氏を指名したため、全員異議無くこれを承認した。

司会者は議案の審議に先立ち、本日の議事の経過をまとめるにあたり議事録署名人 2 名として宮本孝志氏と江藤文敏氏を指名し、議場に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し、両名もこれを承諾した。

(3)議案の審議及び結果

第 1 号議案 平成 15 年度事業報告(案)の承認

第 2 号議案 平成 15 年度収支計算報告(案)の承認

議長は、本件議案について、議事を効率的に進めるため、議長は、第 1 号議案及び第 2 号議案を一括審議することとし、事務局長の中坊真氏に説明を求めた。事務局長は、事業報告書(案)と収支計算書(案)を全文朗読の上説明した。監事の宮本孝志氏から、事業および収支の監査について、適正かつ公正な会計処理および業務の実施がなされていると報告があった。議長がこの報告案を議場に諮ったところ、満場一致で原案どおり承認可決された。

第 3 号議案 平成 16 年度事業計画(案)の承認

第 4 号議案 平成 16 年度収支予算(案)の承認

議長は、本件議案について、第 3 号議案及び第 4 号議案を一括審議することとし、事務局長に説明を求めた。事務局長は、事業計画書(案)と収支予算書(案)を全文朗読の上説明した。さらに、この収支予算書作成後に九州経済産業局の補助事業である環境コミュニティビジネスが採択されたために、申請金額の約 400 万円が収入の部に加わる点について説明を行った。理事長から、収入内訳のうち助成金等の金額 50 万円は、K-RIP からの助成金であったが、環境コミュニティビジネスが採択された場合は、助成を受けることができなくなるため、実質 50 万円の収入減になるという補足説明がされた。

議長が、これらの案に対して議場に意見や質問を求めたところ、事業内容や方針について出席者から以下のような意見や質問があった。

質問 1 財団法人阿蘇グリーンストックの事務所内に事務局を今年 1 年間置かせてもらえるのか？

回答（事務局長） 阿蘇グリーンストックの事務所も移転の可能性があるので、現在移転先の候補地を検討している。

回答（山内康二氏） NPOの事務局は、現在机とパソコンを置いているだけなので、それほど大きな負担になっていないため、グリーンストックとしても了承している。

意見1 現在畜産農家を営んでいるが、生産した堆肥を撒く場所に困っているのが、阿蘇の草地に撒きたいと考えている。しかし、現状では困難なので、その運送コストの問題や解決策について考えるための検討会などを開催して欲しい。

回答（事務局長） 草本系バイオマスの検討会の場や、食品リサイクルプランの検討会などの場で、畜産糞尿の問題や堆肥化などについて議論できるような場を設けられるように検討します。

意見2 農家の方は、バイオマスに関心を持った場合、まず役場担当者に問い合わせるが、担当者が良く知らない場合が多いので、役場担当者向けの広報啓発事業を行ってはどうか？

回答（事務局長） 理事会で広報啓発事業の内容について再検討します。

回答（山内康二氏） NPOとして講習会、研修会を実施したほうが良い時期に来ていると思われる。県議員の中にもバイオマスの普及に熱心な方もいる。熊本県知事も、バイオマスの利用普及に積極的な姿勢を見せている。九州バイオマスフォーラムなので、阿蘇だけではなく天草などの他の地域に目を向けても良いのではないか。

回答（理事長） 各理事が専門分野を持っているので、それぞれ持ち回りで月に1度自治体向けのセミナーを開催していくという方法もある。

質問2 秋のイベントに関して、参加呼びかけなどはどのように行っていくのか？

回答（事務局長） 会員の方にはできるだけ早い告知を行って、参加の呼びかけを行う。新聞等への折込広告も検討している。

回答（山内康二氏） 熊本日日新聞が、NPO向けのキャンペーンを行っているのだから、それを活用するという方法もある。

回答（理事長） K-RIPやRISTなどの団体に告知の協力を依頼することも可能。

質問3 環境商品などは、いくらぐらいで販売されているのか？

回答（事務局長） 現在、物品販売は行っておらず、こういった商品を販売するか検討している。

質問4 ペレットはどこから購入しているのか？

回答（事務局長） 四国にある（株）ツツイからペレットを購入した。10kgあたりの単価は300円であるが、送料が1000円かかっているのだから、実質1300円になっている。

質問5 堆肥などを販売されてはどうか？

回答（事務局長） 前回のシンポジウムでお招きしたNPO法人はちがめプランでは、レストランの店頭で1kgの生ごみ堆肥を100～200円で販売していた。広報啓発を兼ねて商品として販売できる堆肥があるかどうかを探してみる。

意見3 会社として、下水汚泥の炭化を行ってきたが、コークスの需要は高い。バイオマスの利用方法として、そういった方法も検討してみてもどうか？

回答（事務局長） 理事会等で検討していく。

議長は、会場から出た意見や要望等の取り扱いについて、今後の理事会や事務局等で反映させていくように努力するというところで了承を諮ったところ、異議はなかったため承認された。

また、議長は第3号議案の事業計画（案）について議場に諮ったところ、13票の賛成があり、可決された。第4号議案の収支予算（案）については、満場一致で原案どおり承認可決された。

第5号議案 役員を選出

議長は事務局長に次期役員の人選について、理事会の案について説明を求めた。事務局長は、次期役員については、前期役員が引き続き就任することについて議場に提案した。

議長がこれを議場に諮ったところ、異議は無かったため、拍手をもって承認を諮った。出席者全員の拍手をもって、次のとおり、理事13名と監事1名が承認された。

理事 木田建次

理事 梶田聖孝

理事	薬師堂謙一
理事	佐藤誠
理事	山内康二
理事	坂元英俊
理事	松下修
理事	辻正之
理事	大津愛梨（旧姓 吉田）
理事	竹原隆樹
理事	野上寛史
理事	梶原健次郎
理事	中坊真
監事	宮本孝志

尚、すべての被選任者は、それぞれの役員への就任を承諾した。
議長は、総会に出席している次期役員を紹介をそれぞれ行った。

(5)議長解任および閉会

以上をもって、通常総会の議事をすべて終了したため、議長は、今後の特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラムの発展について協力を要請し、午後 16 時 30 分に閉会を宣言し解散した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成 16 年 6 月 27 日

議 長 山内康二 印

議事録署名人 宮本孝志 印

同 江藤文敏 印